

レジノイド砥石・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

TEL：0795-77-2151

作成日：2009年12月10日

変更日：2023年10月6日

整理番号：MSDS-Z072



1. 物質の特定

製品及び副資材の名称	使用用途	含有物質名
研削砥石	砥材（砥粒成分）	酸化アルミニウム
		シリカ
	結合剤	フェノール樹脂
	着色剤	カーボンブラック
	充填剤	水晶石
	その他	アルミブッシュ

※上記のとおり法定指定物質は含有していません。

2. レジノイド砥石 ネジなし（完成品）

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : なし 有害性 : 研削作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 皮膚を刺激することがある。 環境影響 : なし 安全性 : 研削使用時に発生する火花により、火傷と火災の恐れがある。 衛生面 : 研削作業時に発生する粉塵を長期間にわたり吸入すると塵肺に罹る恐れがある。
-----------	--

<p>応急処置</p>	<p>眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。 必要に応じて医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹼と水で洗う。</p> <p>吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合 適用しない。</p> <p>応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。</p>
<p>火災時の処置</p>	<p>消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。</p> <p>消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤</p> <p>火災時の処置に関する特記事項 適用しない。</p>
<p>暴露防止措置</p>	<p>設備対策 硬化物の切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。 換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。 集塵装置を使用する。</p> <p>保護具 呼吸保護具 切断又は研磨作業中に発生する粉塵の吸入を避ける。 汚染物質の空気中での濃度に基づいた検定済の呼吸器を選択すること。 半面防塵マスク、全面防塵マスク</p> <p>保護眼鏡 サイドシールド付きの安全眼鏡を着用する。</p>
<p>物理／化学的性質</p>	<p>外観等 : 黒色</p> <p>水に対する水溶性 : なし</p> <p>状態 : 固体</p> <p>融点 : 知見なし。</p> <p>固有臭 : なし</p> <p>密度 : 知見なし</p> <p>PH : 情報なし</p> <p>化学反応性 : 水に不溶な固体であり、酸にもアルカリにも溶けない 安定な混合物である。</p>

危険性情報	<p>引火点 : 適用しない 燃焼範囲一下限 (%) : 適用しない 燃焼範囲一上限 (%) : 適用しない 発火点 : 適用しない 避けるべき物質 : 適用しない 有害な分解物 : 通常の使用条件においては、有害な分解物の発生は予想されない。しかしながら、火焰または極端な過熱により次の分解物を放出することがある。 一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・シアン化物・ホルムアルデヒド 安定性・反応性 : 安定。危険な重合は起こらない。</p>
有害性情報	<p>眼に入った場合 本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。</p> <p>眼の機械的刺激 : 症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合 皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。</p> <p>機械的な皮膚刺激 : 症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合 吸入した場合の健康障害は予想されない。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合 本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報 本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>
環境影響	<p>使用中に発生する粉塵により、作業環境が汚染される恐れがある。</p>
保管上の注意	<p>直射日光を避け、湿度の低い場所に保管する。</p>
廃棄上の注意	<p>産業廃棄物に関する地域の規則に従う。</p>
その他	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。</p> <p>また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>